

【川内村】

村立義務教育学園に係る校務 DX 計画

川内村においては、福島県が県域でドメイン運用する Google Workspace（汎用クラウドプラットフォーム）である FCS の活用を中心に校務 DX に向け取り組んでいる。

代表的な下記の取組の他、文部科学省が定める「GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリスト」及び福島県教育委員会が定める「教職員働き方改革アクションプラン」等を踏まえ、継続して校務の DX に向けた取組の改善等を行う。

1. 校務支援システムにおける勤怠管理システム導入による働き方改革の推進
 - ・出退勤管理を現状のタイムカード方式から、校務支援システムにおける勤怠管理へ移行する。二次元コードにより出退勤を記録する。このことで、出退勤時間の管理における管理職および事務職員を中心とした業務の効率化および負担軽減を図る。
- 2 教育情報セキュリティポリシーの策定
 - ・クラウド活用を前提とした校務環境等に対応するため、川内村教育情報セキュリティポリシーを策定する。
 - ・今後も国の方向性や現状等を把握しながら、随時見直し等を行う。
- 3 FCS を活用した学校等への発出文書の削減
 - ・義務教育学園の全教職員が FCS を活用しており、村教育委員会においても今後 FCS の導入に向け検討し、発出文書削減による事務負担の軽減等を図る。
- 4 ホームページの利活用促進によるペーパーレス化および事務負荷軽減
 - ・これまで大きな行事の更新を中心としていたホームページについて、日々の学校活動のみならず、学年通信、保健室だより、献立表などを積極的に発信していくこととする。文書にはパスワードを設定しセキュリティを確保する。ICT 支援員の協力を得ながらアップロードしていく。このことにより、ペーパーレス化によるコスト削減、事務負荷の軽減を図る。
- 5 次世代型校務支援システムの導入検討
 - ・義務教育学園においては、令和 2 年度よりプライベートクラウド上で運用する統合型校務支援システムを利用しているが、文部科学省が示す「パブリッククラウド上で運用できる次世代型校務支援システム」の導入を検討するため情報収集を進める。